

＜学校名＞川越市立山田小学校

＜所在地＞川越市山田 167

＜電話＞049-222-2042

＜本事例の特徴＞

本校は、外国籍の児童や、外国にルーツのある児童はそれほど多くはない環境である。そこで外国語科及び総合的な学習の時間における「国際理解教育」において、ALT による自国の文化の紹介などを行い、異文化とふれあう機会を設けた。

＜具体的な取組や成果＞

○外国語科及び総合的な学習の時間における「国際理解教育」～ALT による文化紹介～

- ・ALT がアメリカの生活の様子や食べ物、行事、文化などについてスライドを用いて紹介をした。特に Halloween の日は、英語補助員の先生と共にアメリカにおける Halloween の様子をスライドや服装を用いて詳しく紹介し、アメリカの文化を身近に感じることができた。

○総合的な学習の時間「国際理解教育」

～いろいろな国についてタブレットで調べてみよう～

- ・ALT によるアメリカの紹介を受けて更に様々な国のことについて調べてみようという意欲が高まった。

○掲示物による紹介

英語ルームに Halloween や Thanksgiving などの行事説明の掲示物を作成し、掲示することにより、外国の様々な行事について興味を持つ児童が増えた。

○ALT のクラブ活動への参加

ALT もクラブ活動に参加し、児童と共に活動することで、ALT がより身近な存在となり、コミュニケーションも増えた。卓球クラブではアメリカの練習の仕方を教えることを通して、外国の文化を伝えることができた。

○児童の感想より（一部）

アメリカの Halloween の様子がよく分かった。アメリカでは子どもたちが仮装して一軒一軒家を回って「Trick or Treat」といってキャンディーをもらいに行くところが日本とは違い面白かった。アメリカの Halloween を体験してみたいと思った。また、違う国の Halloween も知りたいと思った。

日本とアメリカの Halloween は少し違うということが分かった。日本ではあまり家を飾らないけれど、アメリカでは家をホラーハウスにしたり、デコレーションしたりするので、面白いなと思った。アメリカへ行って、ホラーハウスや飾った家を見てみたいと思う。

○児童は具体的な体験を通して異文化に触れ、異文化への興味や関心を持ち、また交流する楽しさを味わうことができた。